

2003年3月10日

主催 (財) ミズノスポーツ振興会

共催 (財) 日本体育協会

(財) 日本オリンピック委員会

“2002年度 ミズノ スポーツメントール賞” 受賞者決定

(財) ミズノスポーツ振興会では、(財) 日本体育協会、(財) 日本オリンピック委員会と共催で、1990年度より「ミズノ スポーツメントール賞」を制定しています。この賞は、我が国の競技スポーツおよび地域スポーツにおいて選手の強化・育成ならびに地域スポーツの普及・振興に貢献した指導者を顕彰するとともに、優秀な指導者の育成を目的に制定したものです。

3月10日、高輪プリンスホテルで2002年度選考委員会を開き、受賞者を以下の通り決定いたしました。

【ミズノ スポーツメントール賞 ゴールド】 (トロフィー、副賞200万円)

宇津木 妙子氏 (ソフトボール日本女子代表チーム監督)

【ミズノ スポーツメントール賞 シルバー】 (トロフィー、副賞各50万円)

平井 伯昌氏 (東京スイミングセンター ヘッドコーチ)

小田原 恒雄氏 (北海道体カテスト指導員協議会会長)

【ミズノ スポーツメントール賞】 (トロフィー、副賞各20万円、うちスポーツ券10万円)

伊藤 国光氏 (鐘紡 陸上競技部監督)

布 啓一郎氏 (市立船橋高等学校 サッカー部監督)

浜口 平吾氏 (全日本女子レスリング連盟特別コーチ)

山口 邦夫氏 (山形県長井水泳連盟会長)

白鳥 優氏 (静岡県競技力向上指導者協議会常任理事)

上田 忠氏 (京都府体育協会スポーツ科学委員)

東 嘉伸氏 (大阪ハンドボール協会副会長)

藤熊 昇氏 (奈良県馬術協会理事長)

詳細は別記の通りです。

(お問合せ先)

(財) ミズノスポーツ振興会 事務局

内橋

TEL. 03 (3233) 7009

ミズノ 東京 広報 課

小西・木水

TEL. 03 (3233) 7037

ミズノ 大阪 広報 課

高橋・関

TEL. 06 (6614) 8373

記

名 称 : 2002年度 ミズノ スポーツメントール賞

目的及び
選考基準 : 過去継続して我が国における優秀選手の育成に務めた指導者およびその周辺の
指導者、ならびに長年にわたり継続して地域スポーツの振興に尽力した指導者の
顕彰

選考委員 : 委員長 竹 田 恆 和 氏 ((財)日本オリンピック委員会会長)
委員 長 沼 健 氏 ((財)日本体育協会副会長)
" 豊 田 博 氏 ((財)日本体育協会常務理事)
" 日比野 弘 氏 ((財)日本体育協会常務理事)
" 松 永 怜 一 氏 ((財)日本オリンピック委員会常務理事)
" 田 中 英 寿 氏 ((財)日本オリンピック委員会理事)
" 水 野 正 人 氏 ((財)ミズノスポーツ振興会会長 ミズノ社長)
※順不同

対 象 者 : 国内外を問わず我が国の競技スポーツの指導者および地域スポーツの指導者

受賞者及び : 宇津木 妙子 (うつぎ たえこ) 氏

選考理由 (ソフトボール日本女子代表チーム監督) 49歳

選手として活躍する一方、ジュニア日本代表チームのコーチをも兼任、'81 第1回、'85 第2回、'87 第3回ジュニア世界選手権大会においてそれぞれ優勝、第2位、第3位という優秀な成績を残すに貢献している。競技生活終了後、日立高崎ソフトボールチーム監督に就任。以降、手腕を発揮し、日本リーグ優勝3回、全日本総合選手権優勝5回という輝かしい成績を残す。それらの実績が高く評価され、平成2年に全日本チーム監督に就任。男性指導者が圧倒的に多い日本スポーツ界において北京アジア大会第2位、'98年世界選手権大会第3位、シドニーオリンピック第2位、釜山アジア大会第1位等数多くの輝かしい実績を残している。選手との深い信頼関係に基づくチーム作り、試合運びは高く評価されており、今後のさらなる活躍が期待されている。

※指導している主な選手・チーム

〈日本代表チームの主な成績〉

'02釜山アジア大会 1位、'02世界選手権大会 2位、'00シドニーオリンピック 2位、'98バンコクアジア大会 2位、'98世界選手権大会 3位

平井 伯昌 (ひらい のりまさ) 氏

(東京スイミングセンター ヘッドコーチ) 39歳

大学卒業後、東京スイミングセンター選手コースの指導者として数多くの選手の指導に携わる。その中でも特に、釜山アジア大会競泳男子200m平泳ぎで世界新記録を樹立し金メダリストとなった北島康介選手の素質、将来性を見抜き重点指導を行っている。北島選手は中学、高校の諸大会で優勝を重ね、高校3年時には日本選手権男子100m平泳ぎにおいて日本新記録で優勝、同年のシドニーオリンピック同種目に出場し日本記録を更新、第4位入賞を果たすとともに、平成13年の福岡世界選手権大会男子200m平泳ぎでは日本新記録で銅メダルを獲得している。北島選手の世界のトップスイマーとしての活躍は平井氏の指導に負うところが大きく、若手指導者の第一

人者として高い評価を受けている。

※指導している主な選手・チーム

北島康介 '00 シドニーオリンピック 男子 100m 平泳ぎ 4 位
'01 福岡世界水泳選手権大会 男子 200m 平泳ぎ 3 位
'02 釜山アジア大会 男子 100m 平泳ぎ 1 位
同 男子 200m 平泳ぎ 1 位(世界新記録樹立)

小田原 恒雄 (おだはら つねお) 氏

(北海道体力テスト指導員協議会会長) 78 歳

北海道学芸大学教官時代から、地域のスポーツ活動に積極的に関わり、釧路市サッカー協会、道学生ハンドボール協会、ニュースポーツの普及など地域のスポーツ振興に情熱を傾けるとともに、公認体力テスト普及のため、道体協が主催する判定員養成講習会の講師を務めるなど、全道的視野で体力テストの普及・定着のため尽力している。体力テスト指導員協議会を設立し、現在も会長を務め、道民の体力向上及びスポーツの発展に寄与するとともに自ら地域スポーツ指導者として研鑽を積み、スポーツの実践指導に努め、行政やスポーツ団体から高い評価を得ている。

また、釧路管内スポーツ少年団指導者協議会会長として永年にわたりスポーツ少年団の育成・発展に努め、さらに、北海道スポーツ指導者協議会理事等として全道のスポーツ振興及び指導者の資質向上に貢献している。

伊藤 国光 (いとう くにみつ) 氏

(鐘紡 陸上競技部監督) 48 歳

高校在校中より長距離ランナーとして国体、全国駅伝等で活躍。卒業後も国内のトップランナーのひとりとして数々の国際大会で優秀な成績を収めている。競技生活終了後は鐘紡陸上競技部の指導にあたり、同部を国内トップクラスに導くとともに、アトランタ、シドニー両オリンピックに出場した高岡寿成選手、イエーテボリ世界選手権大会出場の早田俊幸選手、徳永大輔選手など数多くの世界的な長距離ランナーを育成している。特に、高岡選手は 2002 年 10 月のシカゴマラソンにおいて 2 時間 6 分 16 秒という世界歴代 4 位に相当する日本最高記録を樹立。これも自らの競技実績に基づく卓越した指導力によるものであり、指導者としての手腕は高く評価されている。

※指導している主な選手・チーム

高岡寿成 '96 アトランタオリンピック 10000m 出場, '00 シドニーオリンピック 10000m 7 位, 5000m 15 位
'02 シカゴマラソン 3 位 (2 時間 6 分 16 秒 世界歴代 4 位, 日本最高記録)
早田俊幸 '95 イエーテボリ世界選手権大会 10000 m 10 位
徳永大輔 '95 イエーテボリ世界選手権大会 マラソン 17 位

布 啓一郎 (ぬの けいいちろう) 氏

(市立船橋高等学校 サッカー部監督) 42 歳

大学卒業後、市立船橋高校に奉職、サッカー部監督として指導にあたり、同部をインターハイ優勝 4 回に導くとともに、平成 14 年度第 81 回全国高校サッカー選手権大会では同大会 4 度目の優勝を飾っている。数多くの同校出身選手を各年代別日本代表チームに

輩出するとともに、ジュニア選手層のチームの強化、選手個人個人の育成強

化に大きく貢献しており、指導者としての手腕は高く評価されている。

※指導している主な選手・チーム

北嶋秀朗(清水エスパルス/元日本代表)、大久保裕樹(サンフレッチェ広島/U-20 日本代表)、羽田憲司(鹿島アントラーズ/元 U-20 日本代表)、中澤聡太(柏レイソル/元 U-20 日本代表)、鈴木和裕(京都パープルサンガ/元 U-20 日本代表)、黒河貴矢(清水エスパルス/釜山アジア大会日本代表, 銀メダル獲得)

浜口 平吾 (はまぐち へいご) 氏

(全日本女子レスリング連盟特別コーチ) 56歳

プロレスラーとしての活動引退後、アニマル浜口トレーニングジムを設立し若手プロレスラー、ボディビルダーを育成するとともに、女子レスリングの指導にも携わる。特に愛娘でもある浜口京子選手を日常生活からトレーニングまでマンツーマン体制により指導し、'97, '98, '99, '02 世界女子レスリング選手権大会 74 kg級第1位に導いている。また、全日本女子レスリング連盟特別コーチとして積極的に体力強化を始めとした競技力向上に努め、'02 世界女子レスリング選手権大会で3階級制覇という世界のトップレベルに位置する全日本女子チームの育成に貢献する等、情熱溢れる指導力は高く評価されており、アテネオリンピックに向けてコーチとしての活躍が期待されている。

※指導している主な選手・チーム

浜口京子 '97, '98, '99, '02 世界女子レスリング選手権大会 74 kg級 1位

山口 邦夫 (やまぐち くにお) 氏

(山形県長井水泳連盟会長) 65歳

地域に根ざしたスポーツとして水泳競技の普及を目差し、小学校教諭として赴任すると同時に、日本水泳連盟が提唱していた「国民皆泳」に共鳴し、学内はもちろん、地域での水泳教室の開催、県内各地での水泳記録会を立ち上げ、県内学童皆泳に尽力した。長井市西置賜生涯学習プラザ内のスポーツクラブ拠点の中核として、長井スイミングセンターを設立し、その会長としてボランティアで市民の水泳指導にあたり、健康・体力づくりに貢献している。

水泳競技の公認スポーツ指導者として、永年講習会講師及び水泳指導員検定委員として指導者の資質向上・育成に尽力するとともに、記録向上、体力向上をめざす一般成人を対象として昭和60年山形県マスターズ水泳競技会を立ち上げ発展させ、未普及であったシンクロ競技を国民体育大会を機会に取り入れその普及・育成にもあたった。

白鳥 優 (しらとり まさる) 氏

(静岡県競技力向上指導者協議会常任理事) 56歳

日本体育協会公認ソフトボール競技上級コーチ資格を取得して以来、静岡県ソフトボール協会の技術委員となり、その後同委員長として、県内ソフトボールの普及・振興、競技力向上に努めた。また、トレーナー委員長にも任命され、県内各地に技術指導とともに身体のアフターケアについて指導者や選手の指導にあたっている。

現在C級スポーツ指導員講習会の講師を務める他、県選抜国体少年女子ソフトボールチームのコーチ及びトレーナーとしてその手腕を発揮している。

さらに県下各地で開催されるオープンスクール事業における少年から壮年を対象して技術指導を行い、指導者として真摯で、研究・研鑽に励む態度が周囲から賞賛されている。

日中友好スポーツ交流事業として、北京大学とソフトボール競技交流事業に参加、国際交流にも貢献した。

上田 忠（うえだ ただし）氏

（京都府体育協会スポーツ科学委員） 57歳

近年関心が持たれているスポーツ医科学の分野において、京都府体育協会のスポーツ科学委員として、永年にわたり、調査、研究、指導助言し、スポーツセンター医科学室の体力測定や、各種イベントを通し、府民の健康・体力向上に貢献した。

マラソン、駅伝等各種競技大会にはスポーツドクターとして医務係を担当し、大会の運営、安全管理に尽力した。また、現在重要課題となっているドーピング問題において、日本陸上競技連盟ドーピングコントロール検査官として活躍するとともに、アンチドーピングの教育・啓発活動に努めている。

医師として、専門的な立場から、京都府民の健康、スポーツ選手の健康管理、安全対策に積極的に関わり他の範とするところである。

東 嘉伸（ひがし よしのぶ）氏

（大阪ハンドボール協会副会長） 66歳

公認A級コーチの資格を持ち、堺市ハンドボール連盟会長、大阪ハンドボール協会副会長、日本ハンドボール協会評議員として広くハンドボールの普及・発展に努めている。

日本ハンドボール協会強化コーチとして第21回オリンピック競技大会（モンテリオール）、第9回・10回ハンドボール世界選手権大会及び第1回・2回アジアハンドボール選手権大会において選手の指導・強化に貢献した。

また、平成10年から現在まで大阪体育協会理事及び大阪ドッジボール連盟副会長として、ハンドボールのみならず生涯スポーツの普及・振興に寄与し、生涯スポーツ社会の実現に向け尽力しており、その功績は高く評価されている。

藤熊 昇（ふじくま のぼる）氏

（奈良県馬術協会理事長） 51歳

馬術選手として活躍する一方、馬術競技の普及・振興、組織の拡充及び選手の育成・強化に指導的立場で貢献し、県馬術の競技力を全国レベルに押し上げ、地域に根ざした選手の発掘・育成に努め競技力向上に貢献した。

国民体育大会には選手または、監督として26年連続出場し、第57回国体では6回目の優勝を果たすとともに、第39回「わかくさ国体」以来2度目の馬術競技男女総合優勝を成し遂げ、国民体育大会を通し、県民のスポーツの発展に貢献した。

平成11年奈良県馬術協会の理事長に就任してからも、その重責を果たす傍ら、特にジュニア選手の育成・強化に尽力した。技術・精神の両面から選手をサポートし、その適切な指導により、選手、スタッフから絶大な信頼を得ている。